

# 北山富久二郎旧蔵貨幣コレクション

## 【講師プロフィール】

### ■ 講師：三宅 俊彦氏

(淑徳大学人文学部歴史学科・教授)

1967年、千葉県生まれ。國學院大學大学院文学研究科修了。博士(歴史学)。日本学術振興会海外特別研究員等を経て、現在淑徳大学人文学部教授。専門は考古学で、主に東ユーラシアの出土銭貨について研究している。論文に「10-15世紀東ユーラシアにおける銭貨流通」(『東洋史研究』第77巻第2号2018年)などがある。

### ■ 講師：櫻木 晋一氏

(朝日大学経営学部教授)

1953年、福岡県生まれ。慶應義塾大学商学部卒業、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学後、九州帝京短期大学経営情報科講師・助教授を経て、下関市立大学経済学部教授、2019年3月定年退職後名誉教授。2001年4月にケンブリッジ大学留学。2010年6月に博士(史学)[慶應義塾大学]。2023年12月にRoyal Numismatic Society(イギリス古貨幣学会)2023年度メダル受賞。

## 入場無料・事前登録制

監修：安部 清哉 (東洋文化研究所長)  
司会：小野 泰教 (外国語教育研究センター教授)  
      莊 卓燐 (東洋文化研究所助教)

学習院大学東洋文化研究所

開催形式

ハイフレックス型  
にて開催



第一講演 2/17(月)14:00~15:00

## 出土銭から分かること — 北山富久二郎先生の古銭コレクションから —

三宅 俊彦 氏 (淑徳大学人文学部歴史学科・教授)

北山富久二郎先生の古銭コレクションの中から、主に自身の専門分野である東アジアの銭貨について、概要を紹介いたします。その中から、いくつかのトピックを抜き出して、考古学の研究対象としての出土銭からは、どのようなことが分かるのか、見ていきたいと思います。その上で、北山富久二郎先生の古銭コレクションの学術的価値を探っていきたくと考えております。

第二講演 2/17(月)15:30~16:30

## 在欧博物館所蔵の日本貨幣 — 大英博物館とデンマーク国立博物館を中心に —

櫻木 晋一 氏 (朝日大学経営学部・教授)

私は欧州各国の大学や博物館に収蔵されている日本貨幣のデータベースを作り、公開することを研究の一環として行っています。2010年に大英博物館、2023年にデンマーク国立博物館の英文カタログを出版し、2020年からは日本学士院の古貨幣プロジェクトの運営を任されています。今回は、この二つの博物館が所蔵している資料を中心に、日本には残っていない貴重な日本貨幣や、それらのコレクションを集めた人物像などについて紹介します。

### 学習院大学東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1(学習院大学 北1号館4階)

■JR山手線目白駅 徒歩1分

TEL:03-5992-1015 FAX:03-5992-1021

E-mail:ori-off@gakushuin.ac.jp

URL:<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/index.html>

